



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.286 2013.12.11

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

たたかいはこれから 秘密保護法

撤廃へ



廃案へ!と開かれた大集会 = 6日、東京・日比谷野外音楽堂

怒りの声、全国に広がる

6日深夜、安倍自公政権は、1万5千人もが「採決するな」「廃案に」と国会を包囲する中、秘密保護法案の採決を強行しました。

参院本会議では民主党が退席、法案への反対討論をおこなったのは、日本共産党の仁比そうへい議員ただ一人でした。法案は可決されましたが、憲法に明記された国



国会議員会館前での抗議行動 = 6日

民主権、基本的人権、平和主義をことごとくくじゅりりんする違憲立法は、撤廃しかありません。法案成立直後から、全国で秘密保護法撤廃に向けた運動が始まっています。

安倍政権の終わりの始まり

安倍政権の暴走は、その一つひとつが自らの墓穴を掘ることになります。各種調査では、法案の強行によって内閣支持率が急落。今回の強行劇は、安倍政権の終わりの始まりに他なりません。

徳洲会からの
5千万円受領

猪瀬知事の便宜供与疑惑を追及



質問する徳留道信都議 = 10日、都議会総務委

10日、東京都議会総務委員会で、猪瀬直樹知事の5千万円受領問題についての集中討議がおこなわれました。

日本共産党の徳留道信都議の追及に、猪瀬氏は、医療法人「徳洲会」グループから5千万円の裏金を受け取る前日に妻名義で貸金庫を借りたとのべ、記録に残る銀行口座に預ける意思はなく、当初から現金のまま保管する予定だったことを認めました。

また、清水ひで子都議は、東京電力病院(新宿区)の売却をめぐる猪瀬氏が「徳洲会」グループに便宜供与した疑惑を追及しました。

来年4月から耐震工事に入る赤羽会館の代替施設

旧赤中の特別教室等を貸出へ

「利用を考える会」の署名実る



赤羽会館の利用を考える会の署名行動

来年4月から耐震補強工事に入る赤羽会館の問題について、北区は旧赤羽中学校（現赤羽岩淵中学校）の特別教室と体育館を集会施設として貸し出す方針を決めました。利用者などが署名を提出し、代替施設を求めてきた運動が実る形となりました。

「（仮称）赤羽会館の利用を考える会」は、年間利用者が47万5千人にものぼる赤羽会館が13カ月間も休館になることにより、同館を利用するサークルや団体の活動に影響が出ることを懸念、代替施設を求める署名482人分を花川区長に提出していました。

これを受け区は、11月29日の北区議会区民生活委員会で、旧赤羽中特別教室等を貸し出す方針を明らかにしました。

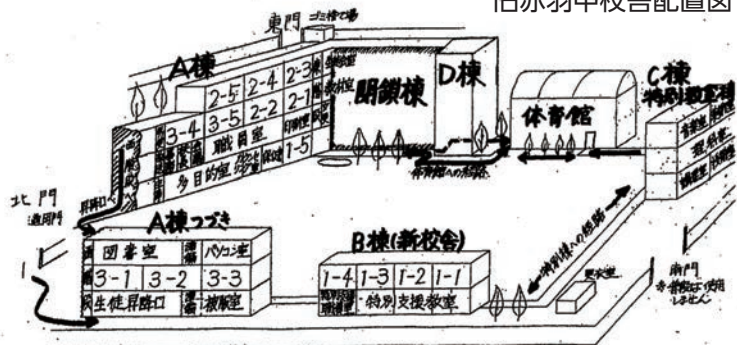
集会施設として利用できるのは、C棟（下図参照）の特別教室のうち、音楽室、美術室、技術室の3教室と体育館（ただし空調設備なし、土足厳禁の条件つき）です。

条例上の規定により料金無料での貸出となるため、利用団体は、①区の主催・共催事業、区出資法人および従前の施設利用団体のうち教育委員会が認めた団体、②シニアクラブ連合会、登録シニアクラブ、③障害者福祉団体に登録している団体、④北区自治会連合会、

各地区連合会、⑤区内公益法人（消防団や地区町会自治会など）に限定されます。この措置により、赤羽会館の一般利用者がふれあい館など他施設を利用しやすい環境を整えるとしています。

同委員会で土屋地域振興課長は、日本共産党の福島宏紀議員の質問に答え、「利用者からも代替施設を要望する署名を頂いている」とのべました。

旧赤羽中校舍配置図



第12回 家族ふれあいコンサート



7日、赤羽会館で第12回「家族ふれあいコンサート」を鑑賞。ゴスペルやダンス、一輪車、小学生とは思えぬ岩淵小スクールバンドの演奏に感動しました。（のの山けん）